

※ 在宅当番医は変更が多々ありますので、当日の新聞（筑豊版）でご確認ください。

【総合体育館開催】★ウォーキング教室（9:30～11:00）★健康体操教室（14:00～15:30）

11月

2 (日)	【当番医】内田外科内科医院 ☎65・2121（桂川町土居） 第16回図書館まつり 9:30～ 町立図書館 第12回グラウンド・ゴルフ大会 グラウンド・ゴルフ場 桂川町文化祭 9:00～16:30 住民センターほか
3 (月)	◆文化の日 【当番医】大村内科医院 ☎65・0016（桂川町土師） 桂川町文化祭 9:00～16:30 住民センターほか
5 (水)	わんぱく教室（音楽） 10:30～11:30 総合福祉センター
6 (木)	離乳食教室（要申込） 10:00～13:00 総合福祉センター ※要予約（健康福祉課 ☎65・0001） ★健康体操教室
9 (日)	【当番医】青柳医院 ☎65・0013（桂川町土師） 桂川町長選挙及び町議会議員一般選挙 7:00～20:00 町内各投票所
11 (火)	健康相談 13:30～14:30 総合福祉センター ★ウォーキング教室
12 (水)	健幸づくりサポート教室（ダイエット編） 10:00～12:00 総合福祉センター ※要予約（健康福祉課 ☎65・0001） 業者による補聴器定期相談 13:00～14:00 総合福祉センター
13 (木)	心配ごと相談（行政相談員） 13:00～16:00 総合福祉センター ★健康体操教室
15 (土)	桂川町防災講演会 19:00～ 住民センター

16 (日)	【当番医】あそう内科クリニック ☎29・1666（飯塚市楽市） 第2回桂川町環境美化の日行動 8:30～10:00 町内全域
17 (月)	ピヨピヨ教室 10:30～11:30 総合福祉センター
18 (火)	本城健次さんの「山の花」個展 町立図書館（29日出まで） ★ウォーキング教室
19 (水)	妊婦さん安心教室 9:45～10:00（受付）総合福祉センター
20 (木)	1歳6カ月児健診 13:15～14:00（受付）総合福祉センター ★健康体操教室
23 (日)	◆文化の日 【当番医】塚本クリニック ☎72・4388（飯塚市平塚）
24 (月)	◆振替休日 【当番医】徳永眼科医院 ☎25・0011（飯塚市楽市）
26 (水)	妊婦さん安心教室 9:45～10:00（受付）総合福祉センター
27 (木)	乳児健診（受付は対象月齢によって異なります） 総合福祉センター ブックスタート・フォローアップブック スタート（町立図書館主催事業） 上記乳児健診時に読み聞かせし、絵本2冊を配布 ★ウォーキング教室
29 (土)	文学歴史探訪 9:45～15:20 飯塚歴史資料館ほか ※要申込（図書館 ☎65・4946）
30 (日)	【当番医】上村皮ふ科・形成外科 ☎22・2973（飯塚市忠隈） 桂川町文化事業 岩崎大輔とグラウンドオーケストラ 14:00～（開演）住民センター

12月

2 (火)	★ウォーキング教室
3 (水)	わんぱく教室（あそび） 10:30～11:30 総合福祉センター
4 (木)	★健康体操教室
7 (日)	【当番医】なかおクリニック ☎21・5755（飯塚市堀池）
9 (火)	健康相談 13:30～14:30 総合福祉センター ★ウォーキング教室
13 (土)	冬のビデオ試写会 14:00～15:00 町立図書館
14 (日)	【当番医】宮嶋耳鼻咽喉科 ☎28・3347（飯塚市南尾） 特定健診（集団） 9:00～10:30（受付）総合福祉センター ※要予約（保険環境課 ☎65・1097）

農産物直売所

けいせんとれたて村

5周年 感謝祭!

【とき】
毎週日曜日 8時～12時
※商品が売り切れ次第終了

【ところ】
けいせんとれたて村販売所

【問合先】
産業振興課 ☎65・1106



* 町長室から *

▽深まりゆく秋 食欲、スポーツ、読書、芸術、行楽、収穫等々、「秋」に因む表現はたくさんありますが、人それぞれに想いの違いはあると思います。

私の場合、遠い日のことですが、一面真っ白に降り積もった霜景色、ピシッと引き締まった朝の空気、田んぼの中に造られた「藁こづみ」、真っ赤に熟した柿の実・そんな風情がとても好きでした。この時は、稲の収穫が終わった安堵感と天候をいたずらに気にせず、に済む解放感、そして、自分の自由な時間が持てる嬉しさが交錯し、秋の夜長を満喫したものです。

自分だけの世界を勝手に演じながら、思いに耽る「至福のひとつき」は、何ものにも代え難いものです。さらに、気心を知った友人たちと過ごす語らいの時間は、なお大きな喜びがあふれます。小さな牛舎の片隅のわずか3畳の部屋で酒を飲んで、電気こたつに足を突っ込み、4、5人で寝入ったこともありました。まさに若き日の原風景の一つです。

『若かったころの自分をいとおしむ想い』・『これは小説『蝸ノ記』（葉室麟著／祥伝社）の中に出てくる主人公・戸田秋谷の言葉ですが、そんな言葉が氣に止まるような年齢になったのかな？と改めて思う次第です。

桂川町長 井上利一